

家庭数配布

二生徒指導だより二



めざす子ども像…

豊かな心で互いの違いや多様性を認め合える子ども
自分の考えや良さを言える子ども
自分自身でしっかり考えて行動できる子ども

令和3年度
5月号

R3.4.30

山口市立大内小学校



みんなの力で守られている



新年度が始まってから早ひと月。校庭から当たり前のように子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきます。思い起こせば、1年前は新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休校の最中でした。そして今…再び県内でも感染拡大の兆しが見られます。当たり前のことを“あたりまえ”だと思わないように、決して気を緩めてしまわないように、もつべき緊張感をもって学校生活を送っていきたいと思います。

先日、無事に『地区児童会』『大内っ子まもる日』『地区別一斉下校』を実施することができました（昨年度は中止しました）。登下校時、通学路を車や自転車が引切りなしに往来する大内地区の交通環境は、子どもたちにとって決してよいとは言えません。そのような中で安全な登下校を続けていくためには、集団登校というシステムが不可欠です。そして、登校班を維持することができているのは、上記の行事に参加して下さった皆様（相談役である地区委員の皆様、大内っ子まもり隊を始めとする地域の皆様、昨年度から見守り活動をして下さっている鴻池運輸の皆様）のご尽力のおかげに他なりません。

子どもたちが毎日安全に登下校できていることも、決して“あたりまえ”ではありません。多くの方の良心と努力でそれが保たれているという事実を、これらの行事を通して子どもたちと一緒に改めて噛み締め、お世話になっている方への感謝の気持ちを育むとともに、安全に対する意識を一層高めていきたいと思っています。

☆安心・安全な登下校を続けていくために、ご家庭におきましても、お子様にご指導ください。

- ・ 集合時刻を守り、一列に並んで登校する（出発後は、忘れ物を取りに戻らない）。
- ・ 班長が先頭、副班長が最後尾を歩く。みんなで1年生を見守る（歩く速さに配慮する）。
- ・ 集団登校中はマスクを付け、適度な間隔を空けて歩く（1～2m）。
- ・ 下級生は上級生の助言を素直に聞く。上級生はお手本となるような言動を心がける。

5月の目標「人の話をしっかり聞きます」（『あたりまえ10箇条』・第6条）

人の話をきちんと聞くということは、学習規律の基本中の基本であり、学力を伸ばすために欠かせません。また、周りの人との信頼関係を築いていく上でもとても重要です。嬉しい話はもちろん、ちょっと耳の痛い話であっても素直な心で聞くことができる…そのような子どもがすくすくと成長していきます。



ご理解・ご協力をお願いします

☆暑さ、寒さの感じ方は人によって違いがあるため、本校では、標準服の上着をいつまで着るかの基準は特に設けておりませんが、子どもたちには次のように指導しております。詳しくは先日お配りした「学校生活を楽しく過ごすために」をお読みください。

- ① 暑くなってきたら、標準服の上着を脱いで登校してもよい。
- ② 5月については、標準服の上着では暑いと感じたら、ベストを着て登校してもよい。



☆地域には様々な生活スタイル、生活時間で暮らしていらっしゃる方がいます。道路上等でむやみに大声を出したり、走り回ったりしないよう、声をおかけください。

☆地域内に空き家が多く見られます。事故防止・トラブル防止のため、空き家には絶対に入らないようお子様にご指導ください。また、許可を得ずに他人の敷地（田や畑、駐車場等）に立ち入ることがないように声をお掛けください。